

赤ちゃんが欲しい！中国医学の力でできること

西洋医学と中国医学の良い部分を合わせた不妊治療は、欧米では既に多くの医療機関で取り入れられ、治療効果も認められています。最先端の高度生殖医療と、中国医学（鍼灸・漢方薬治療）の治療を併用し、妊娠成功率を引き上げます。

中国では、古くから生理痛・生理不順・子宮筋腫・子宮内膜症・不妊症など様々な婦人科疾患に鍼灸治療や漢方薬治療が行われてきました。鍼灸・漢方薬治療で妊娠しにくい体質から、妊娠しやすい体質へと改善し、妊娠する確率の向上を目指すのです。

不妊症は女性だけの問題ではなく、不妊症に悩む夫婦の40%は男性にも原因があるという調査結果もあります。女性不妊症に対しても、男性不妊症に対しても、二人で検査を受けた結果、器質的な障害などの無いもの、原因不明の不妊症が、中国医学、鍼灸・漢方薬治療の主な治療対象です。



中国医学は生命力の土台作りが得意



西洋医学では、不妊治療は生殖器系統を中心に治療しますが、中国医学では生殖器系統のみではなく、身体のすべての臓器、血液、体液やリンパ液を含むすべてのバランスを改善させることこそが重要と考えています。

さらに中国医学では、精神的なストレスが、身体の臓器などに大きく影響し、体調不良、不妊症の原因になることが多いことから、精神やストレスなどに対しても同時に治療を進めていきます。（精神と身体は相互に関連して生命活動を行っているという観点を中国医学は大切にしています）

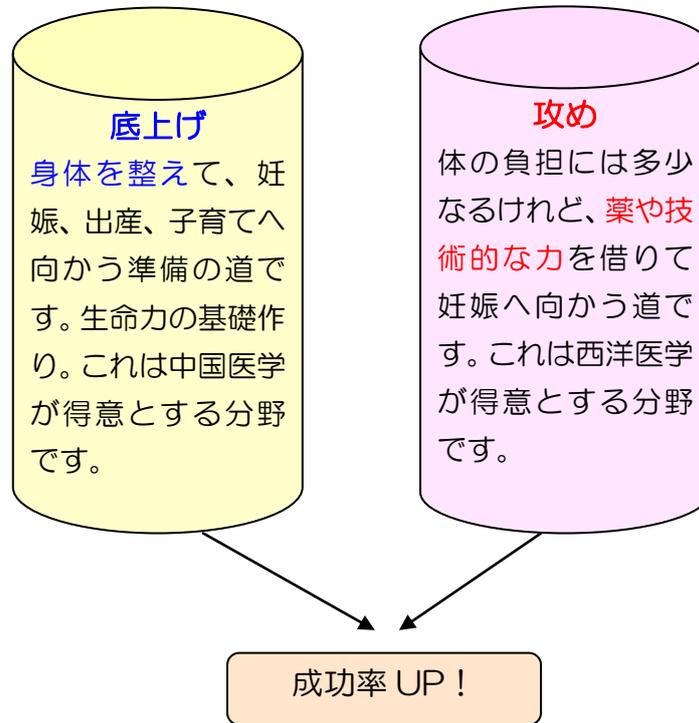
このように中国医学の治療では、漢方薬や鍼灸治療で夫婦の「心（精神状態）」と「体（身体全体）」のバランスをととのえ、“より自然なかたちで赤ちゃんと出会える” 為の準備とも言える身体の土台作りを中心に治療します。

患者様の体力、精神状態は、西洋医学的な手段での治療の際、不妊治療を支える大きな土台となり、不妊治療がスムーズに進みます。

しっかりとした身体作りは妊娠へ向けての基礎ですが、今後の患者様ご夫婦が、これからの人生を歩む上での財産にもなります。



原因不明の不妊には、底上げと攻めの二本柱で



西洋医学と中国医学、お互いのメリットを享受する

積極的な西洋医学での不妊治療を受ける中で、お母さんの体力が虚弱だと妊娠に至りにくだけでなく、たとえばやっとの思いで着床まで至ったとしても、子宮に力が十分になく、母体自体の生命力が弱いので、残念ながら流産してしまう恐れもあります。

西洋医学の先進的な技術力と中国医学の体質改善（体力などの底上げ）の力、両者の力を上手く合わせることで、それぞれの治療の不足を補い合い、より良いメリットを享受できるようにすることが大切です（統合医療の実践）。

身体全体を漢方・鍼灸治療で整えることで、薬剤の服用量を減らせたり、排卵される卵子の状態がよくなることがあります。ご夫婦の体力や生命力を底上げすることで、西洋医学的な不妊治療の直接的な助けになれます。

不妊に対する治療ではなく、患者様個人に合わせた治療

例えば、月経に関するトラブルは、ただ単に子宮などの生理的な問題ではなく、身体全体の問題の影響で起こる場合が多いです。中国医学的な観点から月経を整えるには、中国医学独自の診断方法で、患者様の体質を診断し、治療方針を立てていきます。

同様に不妊治療も患者様の体質を詳しく診断し、以下のタイプに分類し、それぞれのタイプに合わせ体質改善治療を行ってゆく事が重要です。

①腎虚型	生理周期が遅れる 経血色が淡い、色が薄い 希発 ^{きはつ} 月経 倦怠感が強く腰膝がだるい 性欲の低下 尿の色が薄く量が多い
②血虚型	生理周期が遅れる 経血量は少なく、色が淡い 体型は瘦弱 顔の血色が悪い 眩暈や動悸を起こしやすい 全身がだるく倦怠感を伴う
③肝鬱型	生理不順であり生理痛を伴う 経血量は少なく色が暗い おりものに小さな血の塊が混ざる 生理前にイライラする、乳房が張ったりしこりができる 精神不安定になりやすく、怒りっぽい
④痰湿型	体型は肥満気味 生理周期が遅れる おりものは量が多く、質は粘稠性 顔色は黄色っぽい 胸の痞 ^{つか} え及びむかつき、眩暈や動悸を伴う
⑤瘀血型	生理周期が遅れやすい 経血量は少なく色は黒紫 生理痛がある、経血にレバー状のものが混じる 腹部の痛みを伴い押えると痛みが増す

上記は、症状や状況をそれぞれのタイプに分類し箇条書きしたのですが、実際の診断では、中国医学の診断法（四診）に基づき、さらに細かく問診し、証（みため）を立て分類して治療します。

中国医学（漢方・鍼灸）の治療効果

鍼灸・漢方薬治療では、以下のような効果があります。

- ・ 基礎体温を整える…ホルモンバランスを改善し、妊娠しやすい状態を保つ
- ・ 薬剤が効きやすい身体づくり…過度の排卵誘発剤の使用で低下した卵巣機能を回復させる
- ・ 不妊治療薬の副作用を軽減する
- ・ しっかり排卵するようにする…卵巣の機能を向上させ、質の高い卵子が育つ
- ・ ふんわり着床できる子宮内膜づくり…子宮の血行を促進し、受精卵の着床を安定させる
- ・ 卵管采がよく動くようにする
- ・ ストレスのない身体づくり…不妊治療から受けるストレス、体調不良や精神面の不安を解消する
- ・ 妊娠反応が出たら“安胎”の治療を始める
- ・ 西洋医学の薬などの副作用を軽減する
- ・ お腹やお尻、足の冷え症状を改善する
- ・ 流産後の身体の回復、及び体力の向上、免疫抵抗力の活性化

不妊症の漢方薬・鍼灸治療の歴史は非常に長く、中国では多くの古い文献に不妊治療の事が記載されています。現代中国の医療現場でも、漢方薬・鍼灸治療の不妊治療に対する効果は実証されており、多くの患者様が中国医学の不妊治療を受けておられます。科学的な検証も進み、「ホルモンのバランスを整える漢方薬・鍼灸治療で、妊娠率が向上する」という研究結果が、中国国内だけではなく、欧米でも多くの研究チームによって同様の報告がされています。

最近では、冷え症の若い女性が増えています。昔の人は、妊娠しない女性のことを「石女（うまずめ）」と呼んでいました。これは石のように冷たい“冷え症”の女性のことであり、冷え症は昔から不妊を招きやすいものと認識されていまいした。

中国医学では冷え性体質から、骨盤内器官が冷えてしまうと妊娠しにくくなると考えています。お灸で不妊症の経穴（ツボ）に温熱作用を与えて、さらに漢方薬・鍼治療で身体全体を調整することによって、子宮の血流がよくなり、卵巣、子宮など骨盤内器官の機能が改善され、受精卵が子宮内に着床しやすい、妊娠しやすい、骨盤内器官・体質に改善することができます。

また、昔から婦人科疾患のことを「血の道症」と呼び、漢方薬・鍼灸治療を行ってきました。漢方薬・鍼灸治療は不妊症治療以外にも生理不順・無月経・更年期障害・生理痛・子宮内膜症などの婦人科疾患にも効果があります。



中国医学（東洋医学）とは

中国医学とは、中国四千年の長い歴史なかで積み上げられた“経験”に基づいた医学であり、鍼灸・湯液・按摩・食養などにより成り立っています。

「天人合一思想」などの言葉にも象徴されますが、東洋的な自然哲学思想に基づいて理論化され、現代も我々の生活にも大切なものとして息づいています。

そもそも鍼灸をはじめとする中国医学は、「病名」を中心に診断・治療するのではなく、「病人」を中心に考えて治療します。つまり、頭痛の人には鎮痛効果の高い漢方薬を服用すればいい…などといった短絡的な治療ではなく、頭痛を起こした根本原因を探り、さらに症状・体質・生活環境などその人全体をから、「証」という“みたて”を導き出し、それに基づいて根本治療を進めていきます。

中国医学の独特のとらえ方として、身体や心を構成している気・血・水と、「陰陽」「表裏」「虚実」「寒熱」などの二元論が基礎概念となっています。

これらのバランスがとれた状態を「健康」な状態とし、逆に気・血・水などの不調和が病的な状態、または疾病に至る前段階の状態（未病）と考えます。

この患者様には何が不足しているのか？あるいは何が過剰しているのか？冷えているのか？熱があるのか？様々な角度から分析し、自然に治る力を促進させることに主眼をおいて治療していきます。

ウェブサイトもご参照下さい。

：登美ヶ丘治療院

<http://www.tomigaoka.com/>

：漢方薬個人輸入（漢方チャイナ）

<http://www.kanpou-china.com/>